

ど の し た 淵

【町道・農道草払い お疲れ様でした】

台風の影響で延期していた町道・農道草払い作業を、9月25日(日)に行いました。早朝からの作業大変ご苦労様でした。戸数減・高齢化により年々作業従事が厳しくなっていますが、公民会員の献身的な努力により何とか作業が実施できています。

年に1回の作業ではなかなか全域を整備できないので、それぞれの身の回りの環境整備は日頃の個々の心がけが必要になって来るのではないのでしょうか。

作業終了後、高峯共同墓地に台風で倒木があり、その撤去作業にもあたっていただきました。大木が墓碑の所まで倒れていました。墓参に影響のないところで切断し除去していただきました。こちらの作業にも従事していただいた皆さんありがとうございました。



発行責任者

高峯公民会長
三 腰 善 行

090-1089-9432

令和 4 年 10 月 1 日発行



【第12回全国和牛能力共進会】

全国の優秀な和牛を一堂に集め、改良の成果やその優秀性を競う大会で5年に1度開催されます。

審査は、種牛(雄牛・雌牛)の姿・形の良さなど、改良の成果を月齢別に審査する「種牛の部」と肉質を審査する「肉牛の部」があります。また、前回大会では、復興特別出品区として「高校生の部」が開催されましたが、今回からは、「高校及び農業高等学校の部」として新設されます。

全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランド力の向上につながることから、最も重要な大会となっています。そんな大会が今月6日～10日まで種牛の部が霧島市牧園町で、肉牛の部が南九州市知覧町で開催されています。

鹿児島県の厳しい選考会を勝ち抜いた代表牛が優秀な成績を収めることが出来れば、鹿児島牛の知名度が上がることも間違いなし。大会当日まで並々ならぬ苦労と努力を重ねてこられた生産者はもちろん、JAや関係機関の努力が報われる結果になればいいですね。畜産王国鹿児島を国内外にアピールし更なる販路開拓、輸出拡大につながってほしいものです。一般参加の出来る物販などもあるので訪れてみては!!

たかね寺小屋く持続可能な地域づくり

生涯学習県民大学講座が9月4日(日)

虎居地区公民館で行われ参加しました。午前は「コロナ禍における地域活性化について」と午後から「食の視点から考えるSDGsーわたしたちにできることー」の2講座で昼からの講座に参加しました。この中でクイズが出題されました。

①世界中で蛇口から水をジャブジャブと直接飲める国は何ヶ国有るか?

②日本で年間の水を使う割合は農業 日常生活 工業それぞれ何%?

③年間に投機された海洋プラスチックの量は東京ドーム何杯分?

④日本の廃棄される食物量(食品ロス)は年間で25mプール何個分?

【答え】①9か国 ②農業70% 日常生活

10% 工業20% ③7杯分 ④2万個分(日本は世界中から輸入した食品量の約3分の1を捨てています)

日本が食的にはいかに安全で豊か且つ贅沢な国なのかわかります。国連が7月6日に公表した世界の飢餓人口は8億2800万人と厳しい事態になっているというのに。ということで、講座で学んだ食の観点から私たちに出来る事を次号から掲載します。

【駐車場兼キャンプスペース使用寄付】

どした淵の隣接駐車場（キャンプスペース兼用）に設置していた駐車場使用寄付金箱を回収した所、3,150円入っていました。上の駐車場は現場事務所にもなっているので募金箱の設置は控えました。下の駐車場まで降りる車があるかと懸念しておりましたが、多くの善意が寄せられて感謝しております。全額公民会の雑入に入れます。今後もどした淵が夏のメッカになるよう周辺の環境整備に努めていきたいと思っています。

そこで、次回10月16日のボランティアの日の作業は、駐車場奥に**こすんである**伐採木等を処分（焼却）するとともに、更に奥の竹等を伐採し、利用範囲を広げたいと思います。時間の許す範囲でボランティア参加ください。

聞くところによりますと、上流から流れている水路（タイゴ）に石が堆積し水の流れを阻害しているため、駐車場敷地内にも水が入ってきているのでは！とのことでした。それらの状況も確認し復旧につなげていけたらと考えています。



【田の神講】

10月2日（日）に開催されました。今年度は3班が当番で、17世帯21人が参加しました。伝統に基づき田の神餅がつかれ、太鼓とほら貝とを吹き鳴らしながら持ち運び『たのかんさあ』に奉納されました。1752年作の高峯の田の神さあは出産・生殖・豊作の神として祀られ引き継がれてきました。これからも田の耕作者のみならず村の鎮守として全員で敬っていきましょう。



【区グラウンドゴルフ開催】

泊野区体協では11月6日（日）にグラウンドゴルフ大会を3年ぶりに開催します。5人1組のエントリで、団体戦は行わず個人戦のみです。賞品は商品券で準備し、1位1万円・2位7千円・3位5千円分で授与されます。また、参加者全員に参加賞があるほか各種賞が準備されるということです。

子供たちの参加はもちろん、区民全員が参加できます。各班最低1チームは出場できたらいいなと思います。個人戦ですので、5人に満たなくても参加できる方は全員エントリください。

10月15日が申込〆切です。班長さんが出場者の名前を書いて体育部長の三腰史宏さんまで報告してください。

【大山祇神社祭り】

11月21日（月）は神社祭りです。今年度は1・2班が当番です。班長さんを中心に準備方よろしく願います。

編集後記「田の神やあひつむにん」

9月17～18日にかけて、県民体育大会ソフトボール競技に川薩地区代表として参加する予定でしたが、台風14号の襲来により中止となりました。

県体は正式競技25競技・公開競技18競技で地区対抗戦として実施されています。今まで何回か出させていただきましたが、監督として出場した平成30年度大会で優勝したのが最高成績です。ここ3年あらゆるスポーツ大会もコロナで中止や延期になっています。地域イベントもコロナの影響で実施しない傾向になっているのでは！。ややもすると責任論になりがちですが、何をしたからとか、どこで、誰と接触したからではなく、もはやコロナはどこでも誰でも感染しうるものと捉えた方が良くもありません。自己責任です。むやみに警戒するのではなく、最大限の注意（感染予防対策）を行いながら、コロナ対応形態で先に進むしかないのではないのでしょうか。何もやらない方が楽かもしれませんが、それでは何の活気・活力も生まないし、ただ衰退していくのを体感するだけです。全国的には大きなコンサートやイベントも実施されつつあります。踏み出しどころのタイムリミットはまさに『今でしょ！』コロナ禍で一番懸念されることは、気力・やる気を失うことなのではない！

知恵を出し合い・工夫をしながら先に進みませんか。